

テレワークによる定住・移住促進、人口増加に貢献 (徳島県神山町等のサテライトオフィスプロジェクト)

地方創生に資する
「地域情報化大賞」
部門賞受賞

徳島県は、カバー率98.8%のFTTH網と公設民営方式の光CATV(加入率88.3%)を全県域に整備し、全国屈指の高速ブロードバンド環境を実現。

オフィス開設・運営費用への補助(通信費、古民家改修費用等)などの支援も充実

過疎地域にサテライトオフィスを整備、ICTベンチャー系企業の誘致を推進



古民家や蔵を改装したサテライトオフィス

首都圏のICTベンチャー系企業等※を対象に本格展開

※クラウドサービス企業、情報配信サービス企業、Webデザイン企業、デジタルコンテンツ制作企業、特許事務所等

徳島県内5市町※に、31社が26拠点に進出 ※神山町、美波町、阿南市、三好市、徳島市

56名の地元雇用を創出 (H27.9.1 現在)

3年間で76世帯113名が移住 (徳島市を除く)

神山町ではH23にS45以降、初めて「社会増」が「社会減」を超過
(4年間で64世帯102名が移住)

事例名称	サテライトオフィスプロジェクトによる定住促進・人口増加	政策分野 1. 地方における安定した雇用の創出 2. 地方への新しい人の流れをつくる 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現 4. 時代に合った地域、安心な暮らし、地域と地域の連携
取組地域	かみやまちょう 徳島県神山町	
全体概要	県による全国屈指の高速ブロードバンド環境の実現とオフィス開設・運営費用への補助(通信費、古民家改修費用等)などの支援を活用して、過疎地域にサテライトオフィスを整備、ICTベンチャー系企業の誘致を推進	活用した政府の支援 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 地方創生推進交付金(内閣府) ➤ 平成12年度 地域インターネット導入促進基盤整備事業(総務省) ➤ 平成16年度 加入者系光ファイバ網設備整備事業(総務省) ➤ 平成16年度 地域公共ネットワーク基盤整備事業(総務省) ➤ 平成19年度 ICT利活用モデル構築事業(総務省) ➤ 平成21年度 ICTふるさと元気事業(総務省)
特徴的取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○全国屈指の高速ブロードバンド環境を早くから実現 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が総務省からの支援等を活用して、カバー率98.8%のFTTH網と公設民営方式の光CATV(加入率88.3%)を全県域に整備した。 ○古民家改修費や通信費等に対する県の手厚い支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県がオフィス開設・運営費用への補助などの支援を充実させた。 ○「神山アーティスト・イン・レジデンス」等の継続的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年にわたり、芸術家や映像クリエイターの移住に取り組んできた地元NPO法人グリーンパレーが、首都圏のICTベンチャー系企業等を対象にサテライトオフィスを本格展開。 ○進出企業・移住者の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県内8市町へ40社が36拠点に進出。(阿南市、海陽町、神山町、牟岐町、徳島市、鳴門市、美波町、三好市) ・ 平成28年4月～9月で156世帯234名が移住(徳島市を除いた企業進出市町内)。 	<p style="text-align: center;">イメージアップ資料(写真・図表等)</p>  <p style="text-align: center;"><古民家や蔵を改装したサテライトオフィス></p>
取組の工夫等 推進体制面	<ul style="list-style-type: none"> ○メンターの存在 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 地元のNPO法人グリーンパレーの大南理事長の熱意により、自治体をうまく巻き込みながら数々の課題を克服してきた。 ○明確なコンセプトと気負いのない対応 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「創造的過疎」という明確なコンセプトを打ち出すと共にお遍路文化に基づく気負いのない対応で取組を進めている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○空港からの距離の近さと災害に強い地盤との評価 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 空港から近く、また、災害に強い地盤という地理的な優位性を有していた。 ○地元で雇用できる優秀な人材の宝庫 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 大手のICT系企業がある土地柄により、地元大学等もICT系の教育に力を入れており、雇用できる優秀な人材の宝庫であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県内8市町※へ、40社が36拠点に進出(平成28年9月30日現在) ※阿南市、海陽町、神山町、牟岐町、徳島市、鳴門市、美波町、三好市 ・ 平成28年4月～9月で156世帯234名が移住(徳島市を除いた企業進出市町内)。 ・ 60名以上の地元雇用を創出 ・ 神山町では平成23年に昭和45年以降、初めて「社会増」が「社会減」を超過(5年間で71世帯117名が移住)
参考となるポイント・示唆	<ul style="list-style-type: none"> ○古民家改修費や通信費等に対する県の手厚い支援 県がオフィス開設・運営費用への補助などの支援を充実させた。 ○メンターの存在 地元のNPO法人グリーンパレーの大南理事長の熱意により、自治体をうまく巻き込みながら数々の課題を克服してきた。 	